

●技術情報

Q&A

[6] 作物別施用法（野菜類）

Q6-4-36 ニンニク畑の土づくり方法について教えてください。

A6-4-36 ニンニクの大球を多収するためには、土づくりが欠かせません。これには良質堆肥の施用、あるいは緑肥すき込みなど有機物の投入が必要となります。その際に石灰窒素を 50 ～ 100kg /10a を施用すると、肥切れ防止、センチュウ対策に大きな役割を果たします。

青森県では9月中旬～ 10 月上旬の植え付け 20 日前に緑肥と石灰窒素を 40 kg /10a 施用し、3回以上耕うんするよう指導しています。

下表は、宮城県経済連による緑肥作物と石灰窒素を併用した試験事例を紹介します。

表 6-4-25 ニンニクに対する石灰窒素とソルゴーによる土づくり効果(宮城県経済連・1987～1988 年)
(規格別 a 当たり収量)

区 名	規 格 球					総収量 (kg)	収量比 (%)
	LL (kg)	L (kg)	M (kg)	S (kg)	計 (kg)		
慣行区	-	68.2 (62.3)	35.9 (32.9)	5.3 (4.8)	109.4 (100)	123.4	100
改善区	11.6 (8.6)	90.6 (66.9)	30.7 (22.7)	2.4 (1.8)	135.3 (100)	159.3	129

改善区(前作の)ソルゴー栽培に 10a 当たり磷硝安加里 100 kg、80 kg ようりん、苦土石灰 100 kg を施用。

7 月 2 日播種、9 月 2 日すき込み (石灰窒素 60 kg 施用、深耕)

ニンニクに対する肥料は窒素 24.8kg、りん酸 23.8 kg、加里 10 kg を化成肥料(共通)で施用